

と不必要となる管渠が出るなど非経済的な状況となり、将来的に公共下水道との接続を困難とするもので、維持管理費が最も安い公共下水道が経済的です。

安平地区の皆様にはご不便をおかけしますが、現在の計画どおり公共下水道での対応

がベストと判断していますが、今後も浄化槽施策等も含め多様な方向で検討していきたいと考えています。

Q 安平第3自治会長

①少子化により、小学校校舎の教室が余ってきているが、

保育所や老人室などに活用させてほしい。

②旧安平食品工場の跡地を有効活用できないか。

③現在安平地区には生鮮食品店がなく、お年寄りをはじめ安平地区住民は不便を感じており、何か対策はないか。

A 教育長

①現在、空き教室は旧保健室として使用していた一部屋だけで、ご意見のありました保育所については、スペースや法的な問題で、現状ではかなり難しいと考えています。

しかし、地域に開かれた学校という観点から、旧保健室についてはコミュニティルームとして開放できるのではと考えており、積極的に利用したいと思っています。

また、学校体育館、図書館及びパソコンを配置した視聴覚室については、地域と学校の連携をより一層図るといった意味からもご使用していただければと考えています。

A 商工労働課長

②旧安平食品工場跡地を利用するには、土地の取得や施設の改修など多額の経費が必要となるのが予想されます。また、この工場跡地は民間会社の財産であり、現段階では町としての跡地活用は難しいと思っています。

A 町長

町として活用するというのではなく、幅広く情報網を張り、他の民間会社や団体などが活用したいという問合せがあれば照会していくことはできると考えています。

A 商工労働課長

③安平地区から生鮮食品を取り扱う商店が無くなり、地域の方々が大変不便を感じていることは、行政としても大きな問題として十分認識しています。

町では町内循環バス運行の検討と、商工会等とも協議しながら、少しでも皆様の不便が解消されるよう検討してい

きたいと思っています。

Q 安平第3自治会長

安平市街北3条線の道路幅員が狭く歩道もないので、実情に合った道路整備をお願いしたい。

また、路線改良には追分地区に通じる路線も視野に入れてほしい。

A 土木課参事

安平市街北3条線は、約30年以上経過しており、自衛隊車両以外の大型車も増え、舗装路面も傷んでいる状況にあります。北海道が定めた災害時の緊急輸送道路として指

